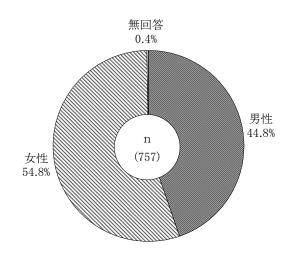
I ∨ 中·高校生調査結果

1. 基本属性

(1)性別

F1 あなたの性別は。(Oは1つだけ)

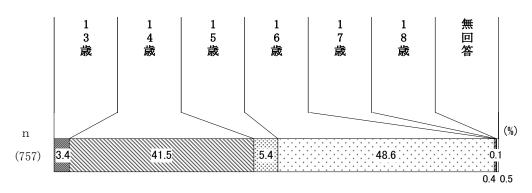
〈性別〉



(2)年齡

F2 あなたの年齢は。

〈年齢〉

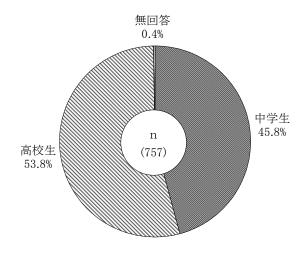


第2章 調査結果の詳細

(3)中学生・高校生

F3 あなたの学年は。(Oは1つだけ)

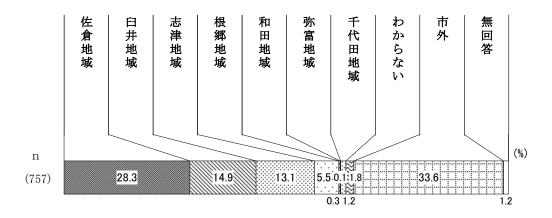
〈 中学生・高校生 〉



(4)居住地域

F 4 お住まいの居住地域は。(Oは1つだけ)

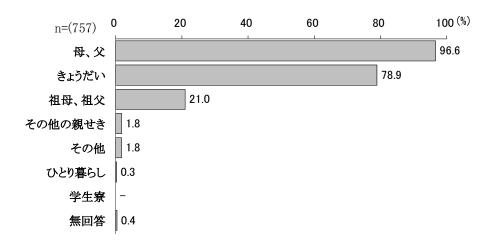
〈 居住地域 〉



(5) 同居者

F5 あなたは現在、誰と暮らしていますか。(Oはいくつでも)

〈同居者〉

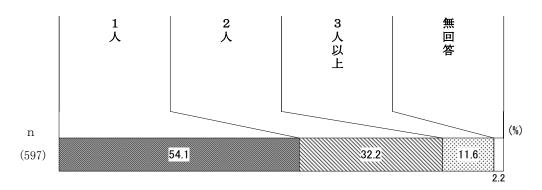


(6) 兄弟の人数

F5で「きょうだい」と回答した人のみ

F5-1 あなたには、きょうだいが何人いますか (あなた自身を除く)。(Oは1つだけ)

〈きょうだいの人数〉



2. 健康についての考え方

(1) 主観的健康感·充実度

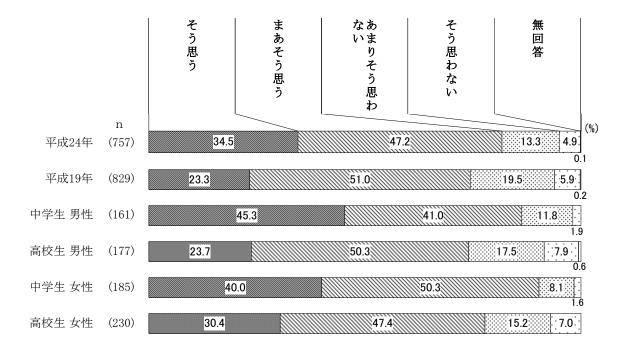
問1 あなたは、毎日を健やかに充実して暮らせていると思いますか。(〇は1つだけ)

毎日を健やかに充実して暮らせているかについては、「そう思う」が34.5%で最も高く、これに「まあそう思う」(47.2%)を合わせた《思う》は81.7%となっている。一方、「あまりそう思わない」は13.3%、「そう思わない」は4.9%となっている。

平成19年の調査結果と比較すると、《思う》は今回81.7%と前回の74.3%より増加している。

中・高校生・性別でみると、中学生・女性では、《思う》が90.3%と最も高く、高校生・男性では74.0%と低くなっている。

〈 前回、中・高校生・性別/毎日を健やかに充実して暮らせているか 〉



(2) 自分の健康への関心

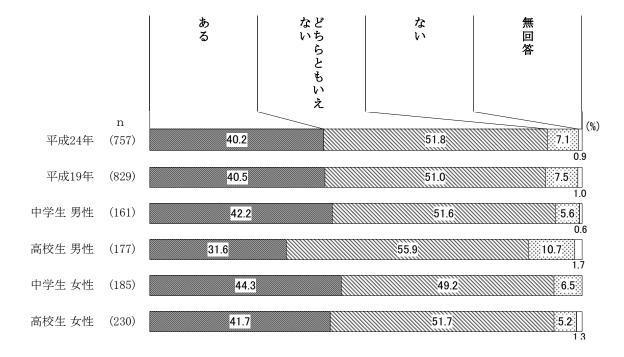
問2 自分の健康に関心がありますか。(Oは1つだけ)

自分の健康への関心については、「どらちともいえない」が51.8%と最も高く、次いで「ある」(40.2%) となっている。一方、「ない」は7.1%となっている。

平成19年調査結果と比較すると、「ある」はほぼ横ばい状態にある。

中・高校生・性別でみると、高校生・男性の「ある」の割合が低くなっている。

〈 前回、中・高校生・性別/自分の健康に関心があるか 〉



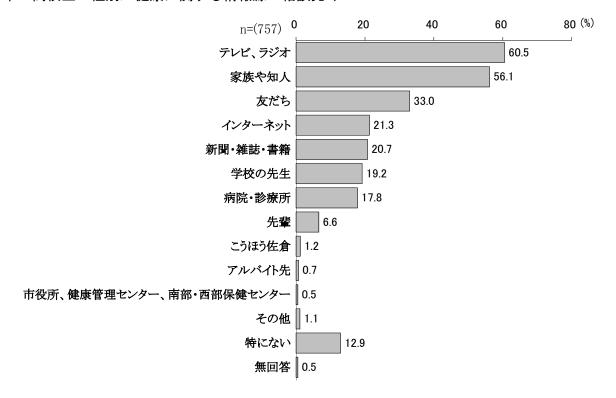
(3)健康に関する情報源や相談先

問3 ふだん、どこ(だれ)に、健康に関する情報を聞いたり、相談をしたりしていますか。 (〇はいくつでも)

健康についての情報源や相談先については、「テレビ、ラジオ」が60.5%で最も高く、以下「家族や知人」(56.1%)、「友だち」(33.0%)の順で続いている。

中・高校生・性別でみると、高校生・男性を除くと、「テレビ、ラジオ」が6割を超えている。また、中学生・女性では「家族や知人」が81.6%と、他の層より高くなっている。

〈 中・高校生・性別/健康に関する情報源・相談先 〉



	テレビ、ラジオ	新聞・雑誌・書籍	こうほう佐倉	ショー 、南部・西部保健セー 市役所、健康管理セン	アルバイト先	学校の先生	家族や知人	友だち	先輩	病院・診療所	インターネット	その他	特にない	無回答
全 体 (n=757)	60.5	20.7	1.2	0.5	0.7	19.2	56. 1	33.0	6.6	17.8	21.3	1.1	12.9	0.5
男性 中学生 (n=161)	61.5	20.5	1.9	1.9	1.2	26. 1	47.8	25.5	6.2	23.6	21. 1	1.2	17.4	0.6
高校生(n=177)	53. 7	11.3	0.6	-	-	16. 9	35.0	20.9	7. 9	14. 1	18.6	-	20.3	0.6
女性 中学生 (n=185)	65. 9	27.6	1.1	_	_	28. 1	81.6	40.5	5.9	20.0	18.9	1.1	4. 9	0.5
高校生(n=230)	60.4	22.6	1.3	0.4	1.3	8.7	57.0	41.3	5. 7	14.8	24.8	1.7	10.9	0.4

3. 栄養・食生活

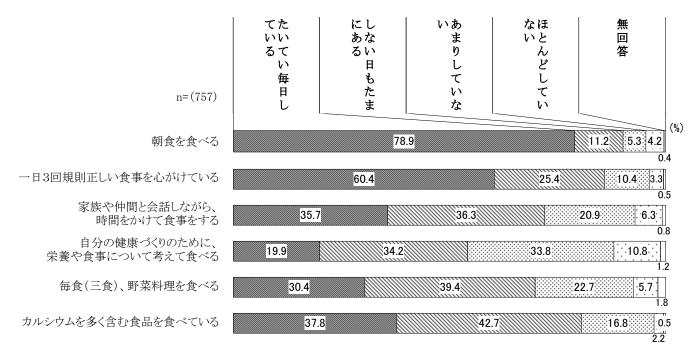
(1) 食生活

問4 あなたはふだん、次のそれぞれのことをどのくらいしていますか。 (それぞれについて、当てはまる番号1つだけにO)

食生活に関してふだんのこころがけとして、各項目について質問した。

「たいてい毎日している」の高い順にみると、〈朝食を食べる〉が78.9%で最も高く、以下〈1日3回規則正しい食事を心がけている〉(60.4%)、〈カルシウムを多く含む食品を食べている〉(37.8%)、〈家族や仲間と会話しながら、時間をかけて食事をする〉(35.7%)の順で続いている。

〈 食生活に関するふだんのこころがけ 〉

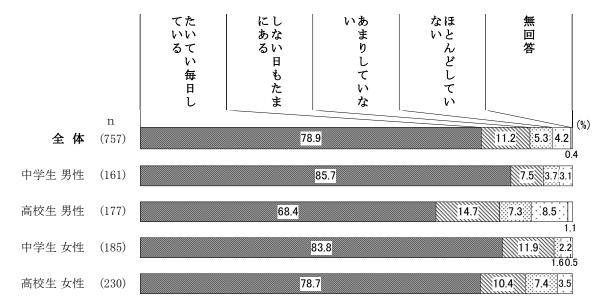


第2章 調査結果の詳細

朝食を食べる

中・高校生・性別でみると、中学生・男性、中学生・女性では「たいてい毎日している」が8割を超えて高くなっている。

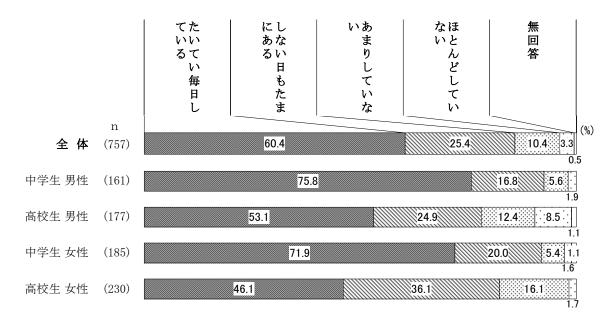
〈 中・高校生・性別/朝食を食べる 〉



一日3回規則正しい食事を心がけている

中・高校生・性別でみると、中学生・男性、中学生・女性では「たいてい毎日している」が7割を超え、高校生より高くなっている。

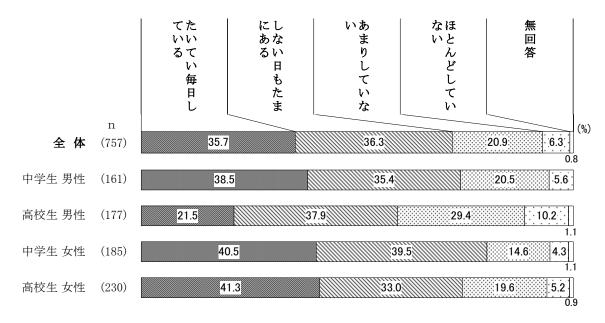
〈中・高校生・性別/一日3回規則正しい食事を心がけている〉



家族や仲間と会話をしながら、時間をかけて食事をする

中・高校生・性別でみると、高校生・男性を除くと、「たいてい毎日している」が4割前後を占めている。

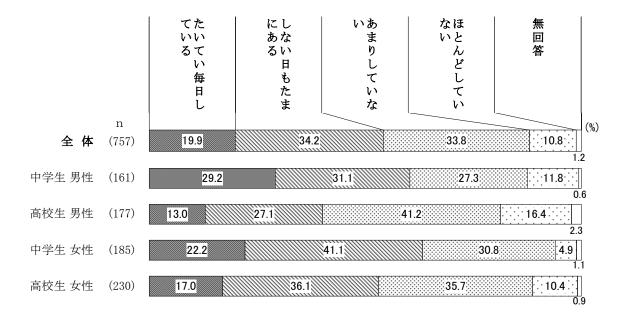
〈 中・高校生・性別/家族や仲間と会話をしながら、時間をかけて食事をする 〉



自分の健康づくりのために、栄養や食事について考えて食べる

中・高校生・性別でみると、中学生・男性では「たいてい毎日している」が29.2%と高くなっている。 一方、高校生・男性では「あまりしていない」が41.2%と高くなっている。

〈 中・高校生・性別/自分の健康づくりのために、栄養や食事について考えて食べる 〉

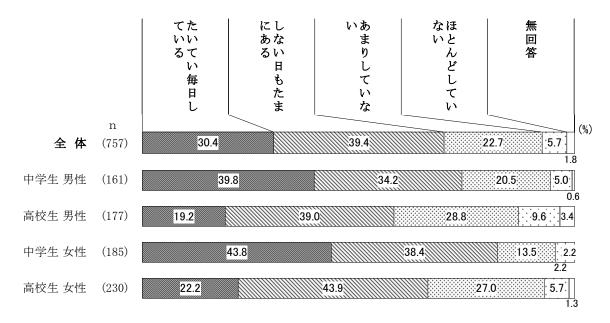


第2章 調査結果の詳細

毎食(三食)、野菜料理を食べる

中・高校生別でみると、中学生・男性、中学生・女性では「たいてい毎日している」が4割前後を占めている。

〈中・高校生・性別/毎食(三食)、野菜料理を食べる〉

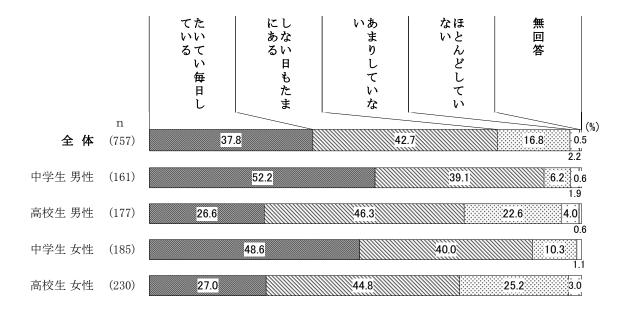


カルシウムを多く含む食品(乳製品・豆類・緑黄色野菜など)を食べている

中・高校生・性別でみると、中学生・男性、中学生・女性では「たいてい毎日している」が5割前後と高校生より高くなっている。

〈中・高校生・性別/

カルシウムを多く含む食品(乳製品・豆類・緑黄色野菜など)を食べている >



(2) 自分の体型についての認識

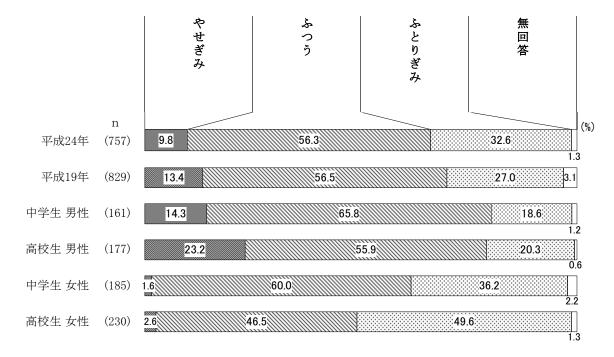
問5 自分の体型についてどう思いますか。(Oは1つだけ)

自分の体型については、「ふつう」が56.3%と最も高く、次いで「ふとりぎみ」(32.6%)となっている。

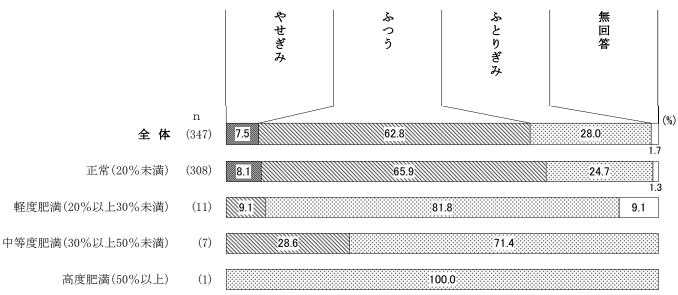
平成19年の調査結果と比較すると、「ふとりぎみ」が、今回32.6%と前回の27.0%より増加している。中・高校生・性別でみると、中学生・男性、中学生・女性では「ふつう」が6割を超えて、高校生より高くなっている。一方、高校生・女性では「ふとりぎみ」が49.6%と高くなっている。

肥満度別(中学生)でみると、〈正常〉という生徒でも24.7%が「ふとりぎみ」と回答している。 BMI別(高校生)でみると、〈普通体重〉という生徒でも36.6%が「ふとりぎみ」と回答している。

〈 前回、中・高校生・性別/自分の体型についての認識 〉

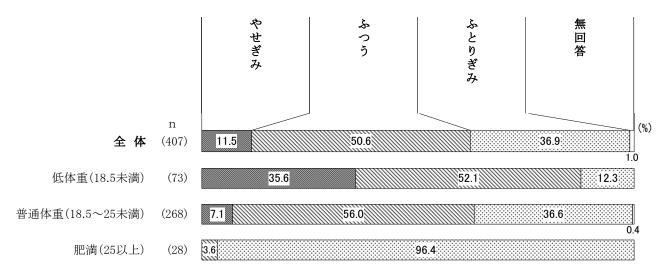


〈 肥満度(中学生)/自分の体型についての認識 〉



第2章 調査結果の詳細

〈 BMI (高校生) /自分の体型についての認識 〉



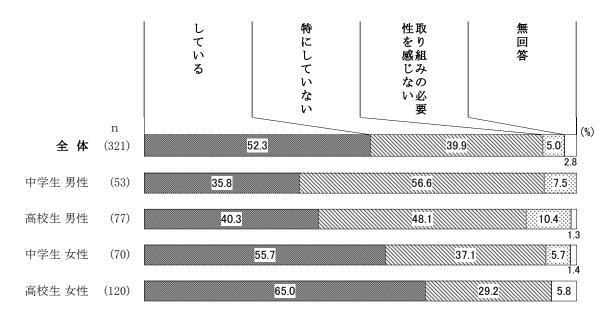
問5で「やせぎみ」「ふとりぎみ」と回答した人のみ

付問5-1 現在、体型を改善するための取り組みをしていますか。(Oは1つだけ)

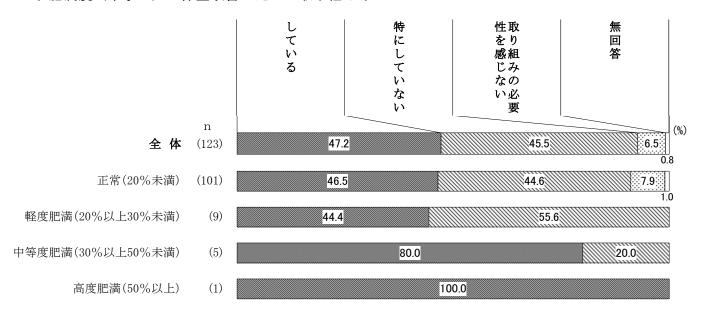
「やせぎみ」「ふとりぎみ」と回答した生徒に対して、体型改善のための取り組みについて聞いたところ、「している」が52.3%を占めている。一方、「特にしていない」は39.9%となっている。

中・高校生・性別でみると、中学・高校とも、男性より女性で「している」が高く、特に、高校生・女性では65.0%となっている。

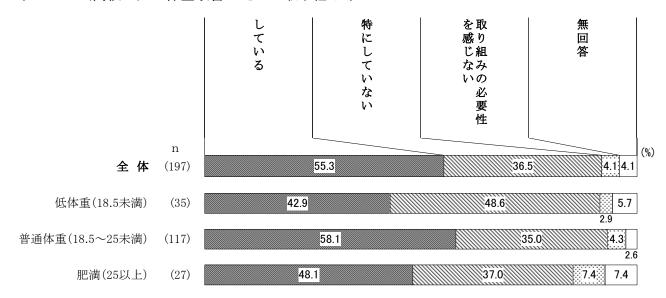
〈 中・高校生・性別/体型改善のための取り組み 〉



〈 肥満度(中学生)/体型改善のための取り組み 〉



〈 BM I (高校生) /体型改善のための取り組み 〉



(3) 肥満度·BM I

問6 あなたのおよその身長、体重を整数で教えてください。

(小数点以下は四捨五入してください)

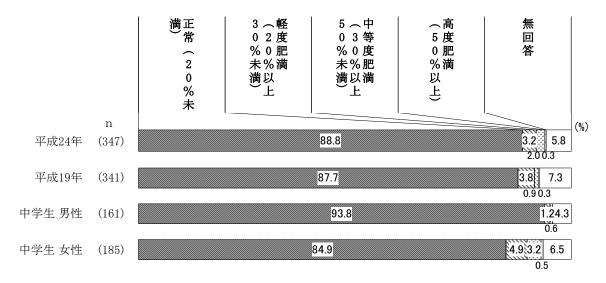
身長と体重から、中学生については肥満度、高校生についてはBMI値を算出した。

中学生では、「正常」が88.8%を占めている。一方、「軽度肥満」は3.2%、「高度肥満」は0.3%となっている。

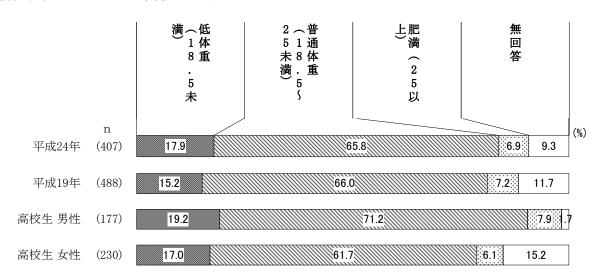
高校生では、「普通体重」が65.8%で最も高く、次いで「低体重」(17.9%)となっている。

平成19年の調査結果と比較すると、中学生の「正常」、高校生の「普通体重」には大きな変化はみられない。

〈 前回、性別/肥満度(中学生) 〉



〈前回、性別/BMI(高校生)〉



4. 身体活動•運動

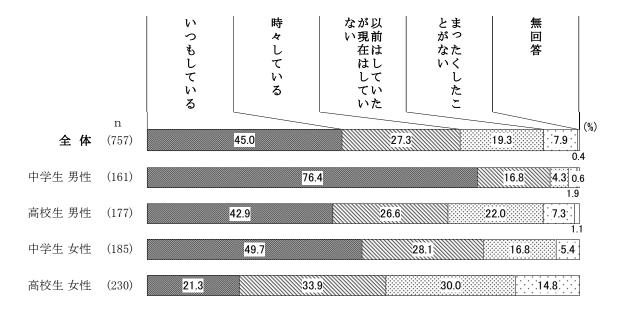
(1) 日頃の運動

問7 日頃から、学校の授業以外で、健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすなどの 運動(部活動等を含む)をしていますか。(〇は1つだけ)

授業以外の運動については、「いつもしている」が45.0%で、これに「時々している」(27.3%)を合わせた《している》は72.3%となっている。また、「以前はしていたが現在はしていない」は19.3%となっている。

中・高校生別・性別でみると、中学性・男性では「いつもしている」が76.4%と、他の層より高くなっている。一方、高校生・女性では「以前はしていたが現在はしていない」「まったくしたことがない」が高くなっている。

〈 中・高校生・性別/授業以外での身体活動・運動の有無 〉



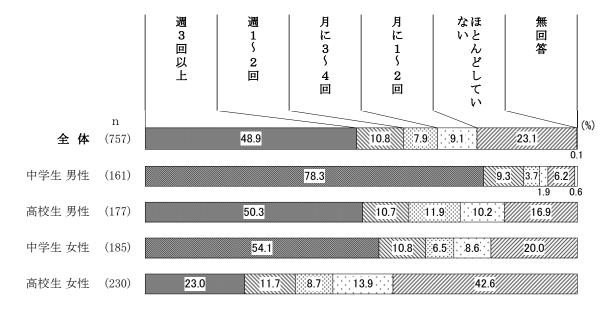
(2)「息が少しはずむ程度」の運動

問8 学校の授業以外で、「息が少しはずむ程度」の30分以上の運動(部活動等を含む)をどの くらいしていますか。(Oは1つだけ)

学校の授業以外での「息が少しはずむ程度の運動」については、《している》の層の中では、「週3回以上」が48.9%で最も高く、次いで「週1~2回」(10.8%) となっている。一方、「ほとんどしていない」は23.1%となっている。

中・高校生・性別でみると、中学生・男性では「週3回以上」が78.3%と、他の層より高くなっている。一方、高校生・女性では「ほとんどしていない」が42.6%と高くなっている。

〈 中・高校生・性別/息が少しはずむ程度の運動の量 〉



5. 休養・こころの健康づくり

(1) ストレスの状況

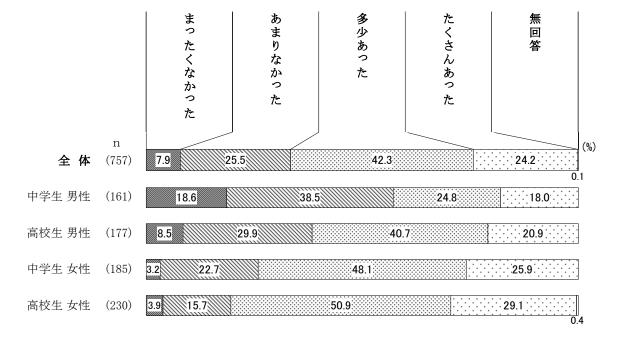
問9 あなたは、この1か月間に、不安、悩み、苦労、ストレスなどがありましたか。 (〇は1つだけ)

過去1ヶ月間の不安・悩み・苦労・ストレスなどの有無については、「たくさんあった」が24.2%で、これに「多少あった」(42.3%)を合わせた《不安あり》は66.5%となっている。

中・高校生・性別でみると、中学生・女性、高校生・女性では「多少あった」がいずれも5割前後となっており、男性より高くなっている。一方、中学生・男性では「まったくなかった」が18.6%と、他の層に比べ高くなっている。

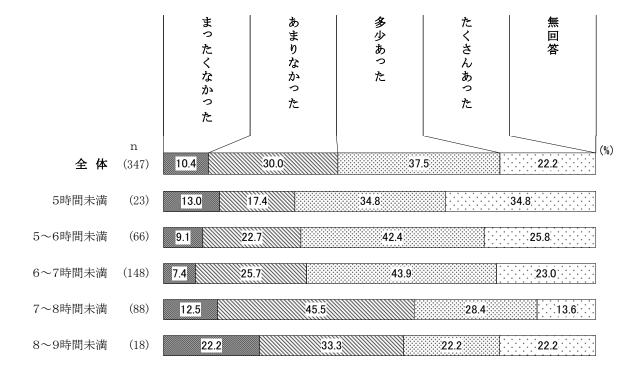
また、睡眠時間とストレスの関係をみると、睡眠時間が長い層ほど、「まったくなかった」「あまりなかった」が高くなる傾向にある。

〈 中・高校生・性別/過去1ヶ月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無 〉



第2章 調査結果の詳細

〈 睡眠時間(中学生)/過去1ヶ月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無 〉



問9で「多少あった」「たくさんあった」と回答した人のみ

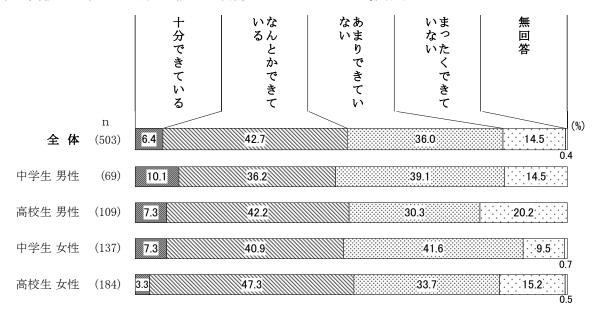
付問9-1 この1か月間を振り返り、不安、悩み、苦労、ストレスなどを解消できていると 思いますか。(〇は1つだけ)

過去1ヶ月間の不安、悩み、苦労、ストレスなどの解消については、「十分できている」が6.4%で、これに「なんとかできている」(42.7%)を合わせた《できている》は49.1%となっている。一方、「あまりできていない」は36.0%、「まったくできていない」は14.5%となっている。

中・高校生・性別でみると、高校生・女性では「なんとかできている」が47.3%と、他の層に比べて 高くなっている。

一方、中学生・男性、中学生・女性では「あまりできていない」が4割前後を占め、高校生に比べて 高くなっている。

〈 中・高校生・性別/不安・悩み・苦労・ストレスなどの解消 〉



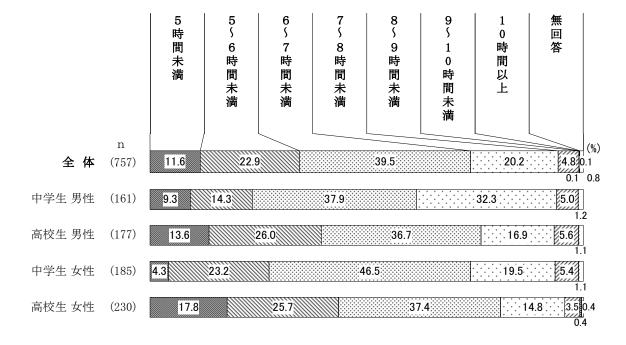
(2)睡眠時間

問10 あなたの就寝時間と起床時間を24時間表記(例:夜11時なら23時)でお答えください。

睡眠時間の平均は、「6.8時間」となっている。

中・高校生・性別でみると、中学生・男性が7.1時間で最も長く、高校生・女性が6.5時間で最も短くなっている。

〈中・高校生・性別/睡眠時間〉



(3) 学校に楽しく通っているか

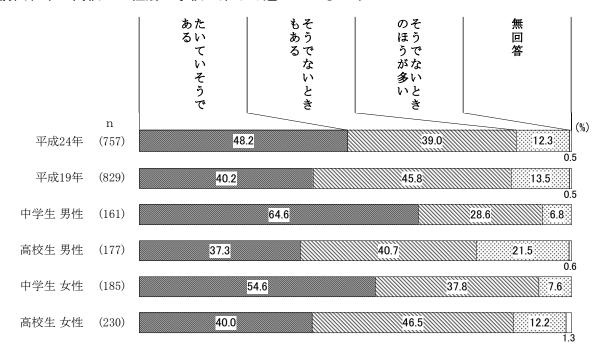
問11 あなたは学校に楽しく通っていますか。(〇は1つだけ)

学校に楽しく通っているかについては、「たいていそうである」が48.2%で最も高く、次いで「そうでないときもある」が39.0%となっている。

平成19年調査の結果と比較すると、「たいていそうである」が、今回48.2%と前回の40.2%より増加 している。

中・高校生・性別でみると、中学生・男性では「たいていそうである」が64.6%と、他の層より高くなっている。一方、高校生・男性では、「そうでないときのほうが多い」が21.5%と高くなっている。

〈 前回、中・高校生・性別/学校に楽しく通っているか 〉



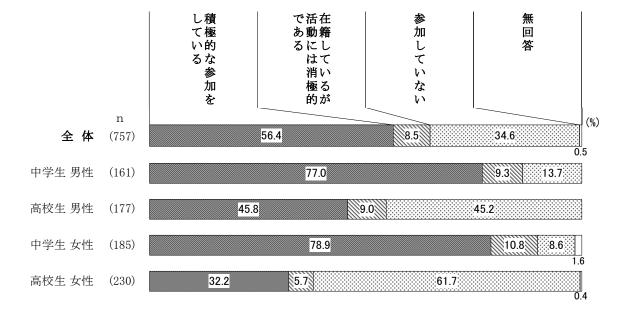
(4) クラブ活動の参加状況

問12 クラブ活動は参加していますか(〇は1つだけ)

クラブ活動への参加状況については、「積極的な参加をしている」が56.4%を占めている。また、「在籍しているが活動には消極的である」は8.5%となっている。一方、「参加していない」は34.6%となっている。

中・高校生・性別でみると、中学生・男性、中学生・女性では「積極的な参加をしている」が8割近くを占めて、高校生より高くなっている。

〈 中・高校生・性別/クラブ活動の参加状況 〉



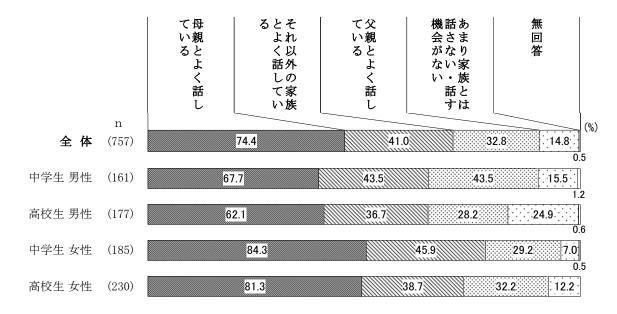
(5) 家族との会話

問13 同居している家族とよく話をしていますか。(Oはいくつでも)

同居している家族との会話については、「母親とよく話している」が74.4%で最も高く、以下「それ以外の家族とよく話している」(41.0%)、「父親とよく話している」(32.8%)の順で続いている。一方、「あまり家族とは話さない・話す機会がない」は14.8%となっている。

中・高校生・性別でみると、中学生・女性、高校生・女性では「母親とよく話している」が8割を超えて、男性より高くなっている。

〈中・高校生・性別/家族との会話〉



	母親とよく話している	話している	父親とよく話している	い・話す機会がないあまり家族とは話さな	無回答
全 体 (n=757)	74. 4	41.0	32.8	14.8	0.5
男性 中学生 (n=161)	67. 7	43.5	43. 5	15. 5	1.2
高校生(n=177)	62. 1	36.7	28. 2	24. 9	0.6
女性 中学生 (n=185)	84. 3	45.9	29. 2	7.0	0.5
高校生 (n=230)	81.3	38. 7	32. 2	12. 2	_

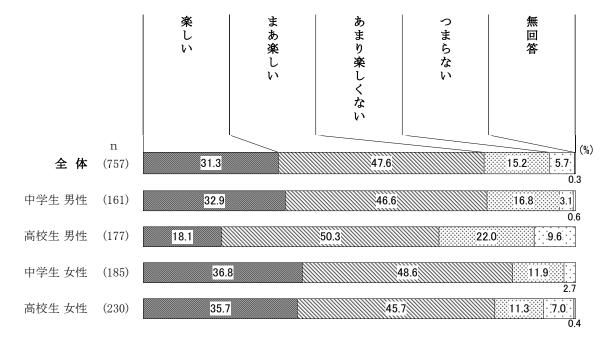
(6) 家族との関係

問14 家庭で家族と過ごすのは楽しいですか。(Oは1つだけ)

家庭で家族と過ごすことについては、「楽しい」が31.3%で、これに「まあ楽しい」(47.6%)を合わせた《肯定的評価》は78.9%となっている。一方、「あまり楽しくない」は15.2%、「つまらない」は5.7%となっている。

中・高校生・性別でみると、高校生・男性を除くと、「楽しい」が3割を超えている。一方、高校生・ 男性では「あまり楽しくない」「つまらない」が他の層に比べ高くなっている。

〈 中・高校生・性別/家庭で家族と過ごすのは楽しいか 〉

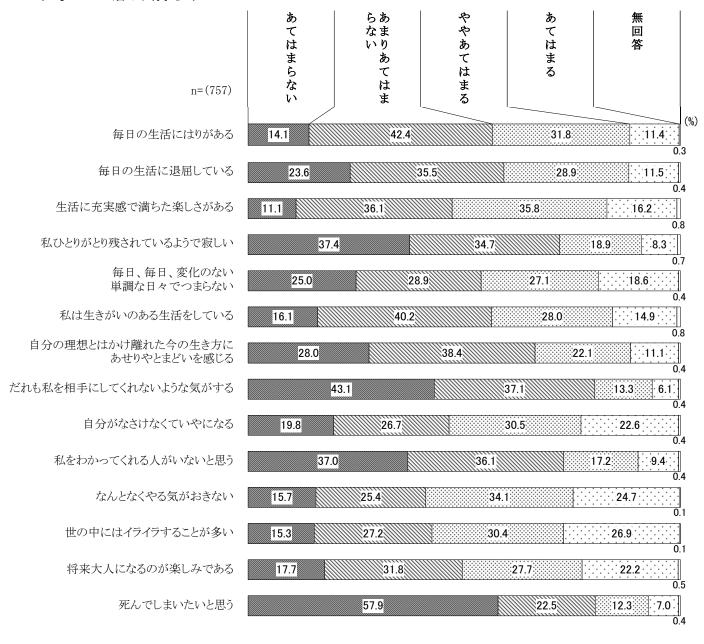


(7)毎日の生活や気持ち

問15 次の質問について、最もあてはまる選択肢の番号に1つだけ〇をつけてください。

毎日の生活や気持ちについて、「あてはまる」の高い順でみると、〈世の中にはイライラすることが多い〉が26.9%で最も高く、以下〈なんとなくやる気がおきない〉(24.7%)、〈自分がなさけなくていやになる〉(22.6%)、〈将来大人になるのが楽しみである〉(22.2%)の順で続いている。

〈 毎日の生活や気持ち 〉



6. たばこ

(1) 家族の喫煙

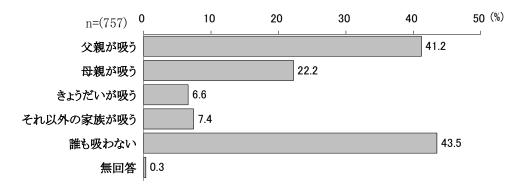
問16 同居家族はたばこを吸いますか。(〇はいくつでも)

同居家族の喫煙状況については、「誰も吸わない」が43.5%を占め、次いで「父親が吸う」(41.2%)となっている。

平成19年の調査結果と比較すると、「誰も吸わない」は今回43.5%と、前回の33.4%から大きく増加し、反対に「父親が吸う」が大幅に減少している。

中・高校生・性別でみると、中学生・男性、中学生・女性では「誰も吸わない」が5割前後を占め、高校生より高くなっている。

〈 前回、中・高校生・性別/同居家族の喫煙状況 〉



	父親が吸う	きょうだいが吸う	母親が吸う	誰も吸わない	それ以外の家族が吸う	無回答
平成24年(n=757)	41.2	6.6	22. 2	43.5	7.4	0.3
平成19年 (n=829)	50.7	13.5	20.3	33. 4	7.4	2.1
男性 中学生 (n=161)	37. 9	3.7	16.8	49.7	5.0	0.6
高校生(n=177)	42.4	7.3	24. 3	39.0	10.7	0.6
女性 中学生 (n=185)	34.6	2.2	16. 2	53.0	7.0	-
高校生(n=230)	48.3	11.3	29.6	35. 2	6. 1	-

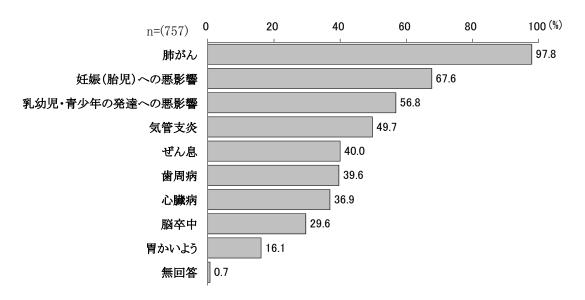
(2) 喫煙と疾病の関係

問17 次の病気のうち、たばこを吸うことでかかりやすくなると、あなたが思う病気を選んでください。(Oはいくつでも)

たばこを吸うとかかりやすくなる病気としては、「肺がん」が97.8%で最も高く、以下「妊娠(胎児)への悪影響」(67.6%)、「乳幼児・青少年の発達への悪影響」(56.8%)、「気管支炎」(49.7%)の順で続いている。

中・高校生・性別でみると、高校生・女性、高校生・男性では「妊娠(胎児)への影響」が、中学生より高くなっている。また、中学生・女性、高校生・女性では「乳幼児・青少年の発達への悪影響」が6割前後と、男性より高くなっている。

〈 中・高校生・性別/たばこを吸うことでかかりやすくなると思う病気 〉



	肺がん	妊娠(胎児)くの悪影響	の悪影響の悪影響へ	気管支炎	ぜん息	歯周病	心臓病	脳卒中	胃かいよう	無回答
全 体 (n=757)	97.8	67.6	56.8	49.7	40.0	39.6	36. 9	29.6	16. 1	0.7
男性 中学生 (n=161)	98. 1	55. 9	55. 3	58. 4	52. 2	42.9	47.8	32. 3	23.6	0.6
高校生(n=177)	95.5	61.6	52.0	42.4	40. 1	32. 2	35.6	29.4	16. 9	1.7
女性 中学生 (n=185)	98.4	71. 9	62. 2	57.8	38. 4	48.6	40.5	29.7	13.0	0.5
高校生(n=230)	98.7	78. 3	58.3	42.6	33. 5	36. 1	27.0	27.8	13.0	_

7. アルコール

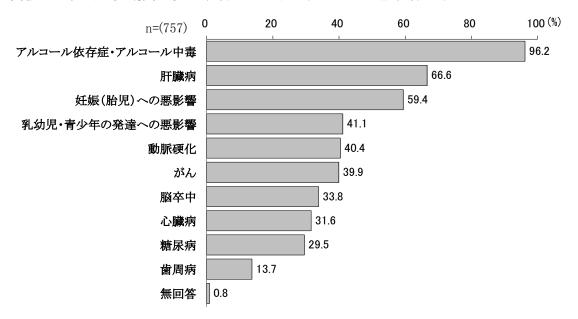
(1) 飲酒と疾病の関係

問18 次の病気のうち、多量の飲酒を長期間することでかかりやすくなると、あなたが思う病気を選んでください。(〇はいくつでも)

長期間の多量飲酒でかかりやすくなると思う病気としては、「アルコール依存症・アルコール中毒」が96.2%で最も高く、以下、「肝臓病」(66.6%)、「妊娠(胎児)への悪影響」(59.4%)、「乳幼児・青少年の発達への悪影響」(41.1%)、「動脈硬化」(40.4%)、「がん」(39.9%)の順で続いている。

中・高校生・性別でみると、中学生・女性では「肝臓病」や「がん」が他の層より高くなっている。 また、中学生・女性、高校生・女性では、「妊娠(胎児)への悪影響」が7割近くを占めて、男性より 高くなっている。

〈 中・高校生・性別/長期間の多量飲酒でかかりやすくなると思う病気 〉



	コール中毒 アルコール依存症・アル	肝臓病	妊娠(胎児)への悪影響	糖尿病	の悪影響の悪影響へ	動脈硬化	がん	脳卒中	心臓病	歯周病	無回答
全 体 (n=757)	96. 2	66.6	59. 4	29. 5	41.1	40.4	39. 9	33.8	31.6	13.7	0.8
男性 中学生 (n=161)	96. 9	67.1	49.7	33. 5	40.4	43. 5	46.0	35. 4	39. 1	19.3	0.6
高校生(n=177)	92. 7	65.0	50.8	26.6	39.5	41.8	29. 4	31.6	24. 9	11. 9	1.7
女性 中学生 (n=185)	96.8	72.4	68. 1	37. 3	44.9	41. 1	50.3	37.3	39. 5	15. 1	0.5
高校生(n=230)	98.7	63.0	67.0	22. 2	40.4	36. 5	34. 3	31.3	24.8	10.4	0.4

8. 歯の健康

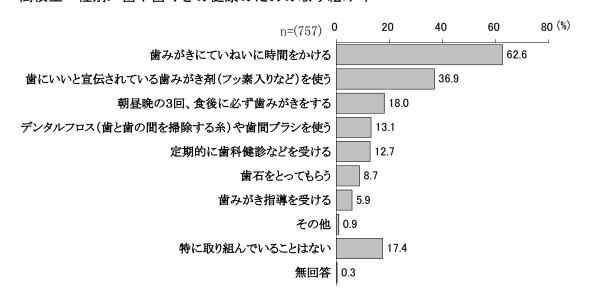
(1) 歯の健康のための取り組み

問19 ふだん、歯や歯ぐきの健康のために、どのようなことに取り組んでいますか。 (Oはいくつでも)

歯や歯ぐきの健康のために取り組んでいることについては、「歯みがきにていねいに時間をかける」が62.6%で最も高く、以下「歯にいいと宣伝されている歯みがき剤(フッ素入りなど)を使う」(36.9%)、「朝昼晩の3回、食後に必ず歯みがきをする」(18.0%)の順で続いている。一方、「特に取り組んでいることはない」は17.4%となっている。

中・高校生・性別でみると、高校生・男性を除くと、「歯みがきにていねいに時間をかける」が6割を超え、特に高校生・女性では69.1%となっている。また、中学生・男性、中学生・女性では「歯にいいと宣伝されている歯みがき剤(フッ素入りなど)を使う」が4割を超えて、高校生より高くなっているなど、他の項目でも高校生の男女より歯や歯ぐきの健康に高い関心を示す傾向がみられる。

〈 中・高校生・性別/歯や歯ぐきの健康のための取り組み 〉



	時間をかける歯みがきにていねいに	入りなど)を使ういる歯みがき剤(フッ素歯にいいと宣伝されて	る後に	間ブラシを使うの間を掃除する糸)や歯デンタルフロス (歯と歯	を受けると関的に歯科健診など	歯石をとってもらう	歯みがき指導を受ける	その他	とはない特に取り組んでいるこ	無回答
全 体 (n=757)	62.6	36. 9	18.0	13.1	12.7	8.7	5.9	0.9	17. 4	0.3
男性 中学生 (n=161)	60.9	42. 2	19. 3	22.4	18.0	10.6	5.6	0.6	19. 3	_
高校生(n=177)	53. 1	35. 6	11.3	7.3	5.6	4.5	4.5	1.7	24. 9	0.6
女性 中学生 (n=185)	65.4	41. 1	28.6	16.8	20.0	15. 7	10.3	ı	10.8	_
高校生(n=230)	69. 1	30. 9	13.9	7.8	8.7	5.2	3.9	1.3	15. 7	-

9. 薬物や性、子育て

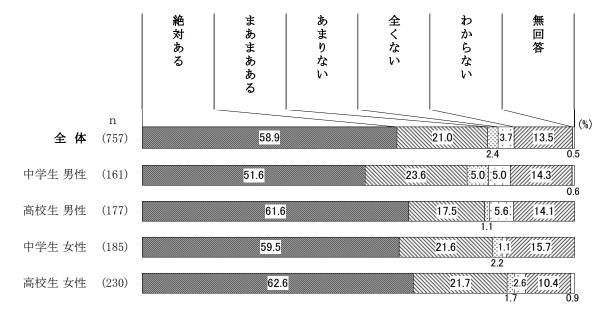
(1)薬物使用を断ること

問20 あなたは、シンナー遊びや覚醒剤などの薬物について使用をすすめられたら、断る自信がありますか。(Oは1つだけ)

シンナー遊びや覚醒剤などの薬物の使用をすすめられた場合、断る自信については、「絶対ある」が 58.9%で、これに「まあまあある」(21.0%)を合わせた《ある》は79.9%となっている。

中・高校生・性別でみると、「絶対にある」が 6 割前後を占めているが、中学生男性のみ51.6%と前回の60%から減少している。

〈中・高校生・性別/シンナー遊びや覚醒剤などの薬物使用をすすめられたら断る自信があるか〉

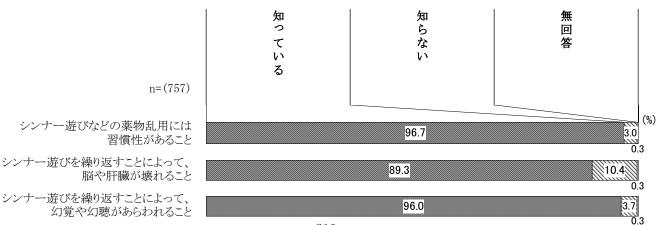


(2)薬物等についての知識

問21 あなたは、シンナー遊びや覚醒剤などの薬物の使用について、次の内容を知っていますか。(それぞれについて、当てはまる番号 1 つだけに〇)

シンナー遊びや覚醒剤などの薬物の使用した場合の結果について、「知っている」の高い順でみると、〈シンナー遊びなどの薬物乱用には習慣性(やめられなくなること)があること〉(96.7%)、〈シンナー遊びを繰り返すことによって、実際には見えないものが見えたり、声が聞えたりすること〉(96.0%)、〈シンナー遊びを繰り返すことによって、脳や肝臓が壊れること〉(89.3%)の順となっている。

〈 シンナー遊びや覚醒剤などの薬物使用についての知識 〉



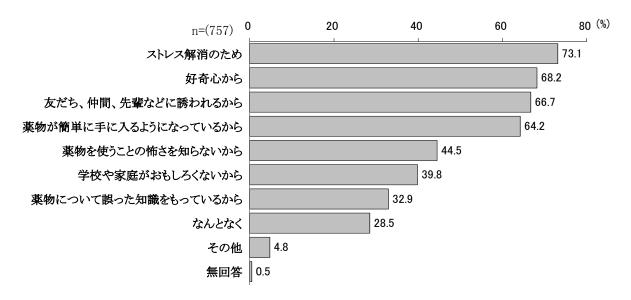
(3)薬物を利用する若者が増えている理由

問22 あなたは、シンナー遊びや覚醒剤などの薬物を乱用する若者が増えているのは、どのような理由からだと思いますか。(Oはいくつでも)

シンナー遊びや覚醒剤などを乱用する若者が増えている理由としては、「ストレス解消のため」が73.1%で最も高く、これに「好奇心から」(68.2%)、「友だち、仲間、先輩などに誘われるから」(66.7%)、「薬物が簡単に手に入るようになっているから」(64.2%)が、いずれも6割を超えて続いている。

中・高校生・性別でみると、中学生・男性、中学生・女性では「ストレス解消のため」が、高校生より高くなっている。中学生・女性、高校生・女性では「友だち、仲間、先輩などに誘われるから」が、 男性より高くなっている。

〈中・高校生・性別/シンナー遊びや覚醒剤などの薬物を乱用する若者の増加理由〉



	ようになっているから薬物が簡単に手に入る	好奇心から	ストレス解消のため	に誘われるから友だち、仲間、先輩など	識をもっているから薬物について誤った知	を知らないから薬物を使うことの怖さ	くないから学校や家庭がおもしろ	なんとなく	その他	無回答
全 体 (n=757)	64. 2	68. 2	73. 1	66.7	32. 9	44. 5	39.8	28.5	4.8	0.5
男性 中学生 (n=161)	59.6	68.3	76. 4	63.4	31. 7	47. 2	39. 1	26. 1	4.3	1.2
高校生(n=177)	64.4	62. 1	60.5	63.8	23. 7	42.4	37. 9	31.6	5. 6	0.6
女性 中学生 (n=185)	68.6	72. 4	81. 1	70.8	42. 2	52. 4	43.8	28.6	4.3	_
高校生(n=230)	64.3	69. 6	74. 3	68.3	33. 5	38. 3	38. 7	27.4	4. 3	-

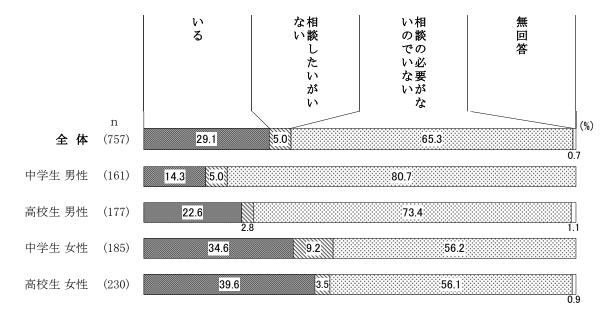
(4)性に関する相談相手

問23 あなたは、性に関して相談できる人がいますか。(Oは1つだけ)

性に関する相談相手の有無は、「いる」が29.1%となっている。一方、「相談の必要がないのでいない」は65.3%を占めている。前回の調査時は「いる」が39.9%、「相談の必要がないのでいない」が52.0%となっており、顕著な違いがみられる。

中・高校生・性別でみると、中学生・女性、高校生・女性では「いる」が3割を超え、男性より高くなっている。一方、中学生・男性、高校生・男性では、「相談の必要がないのでいない」が7割を超え、女性より高くなっている。

〈 中・高校生・性別/性に関する相談相手の有無 〉



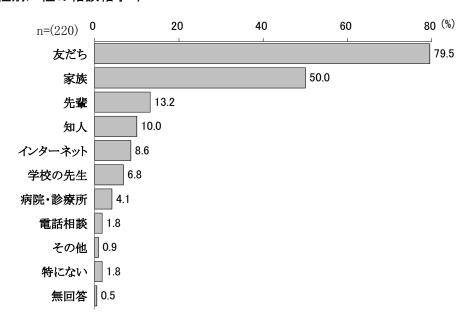
問23で「いる」と回答した人のみ

付問23-1 相談相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

性の相談相手としては、「友だち」が79.5%で最も高く、以下「家族」(50.0%)、「先輩」(13.2%)、「知人」(10.0%)の順で続いている。

中学生・高校生・性別でみると、高校生・女性では「友だち」が87.9%と、他の層より高くなっている。また、中学生・女性では「家族」(85.9%)が際立って高くなっている。

〈 中・高校生・性別/性の相談相手 〉



	友だち	家族	先輩	学校の先生	インターネット	知人	病院・診療所	電話相談	その他	特にない	無回答
全 体 (n=220)	79.5	50.0	13. 2	6.8	8.6	10.0	4. 1	1.8	0.9	1.8	0.5
男性 中学生 (n=23)	78.3	34.8	30. 4	21.7	21.7	21.7	17.4	8.7	4.3	_	-
高校生(n=40)	82.5	22.5	17. 5	2.5	7.5	15.0	2.5	-	_	5.0	2.5
女性 中学生 (n=64)	68.8	85.9	6.3	10.9	7.8	3. 1	4.7	3. 1	_	_	_
高校生(n=91)	87. 9	40.7	12. 1	1.1	6.6	8.8	_	-	1.1	1.1	-

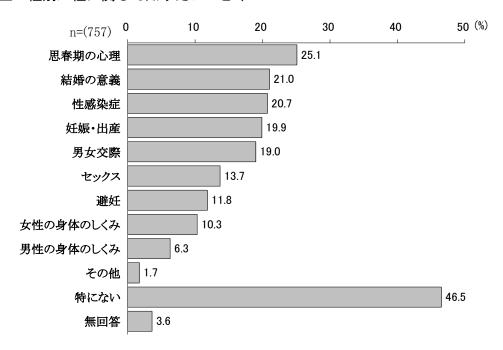
(5)性に関して知りたいこと

問24 あなたが、性に関して知りたいと思うことは次のうちどれですか。(Oはいくつでも)

性について知りたいこととしては、「思春期の心理」(25.1%)、「結婚の意義」(21.0%)、「性感染症」(20.7%)、「妊娠・出産」(19.9%)「男女交際」(19.0%)の5項目が、いずれも2割台から2割前後を占めて、特に高くなっている。

中・高校生・性別でみると、中学生・女性では「思春期の心理」が、高校生・女性では「妊娠・出産」 が、他の層より高くなっている。

〈中・高校生・性別/性に関して知りたいこと 〉



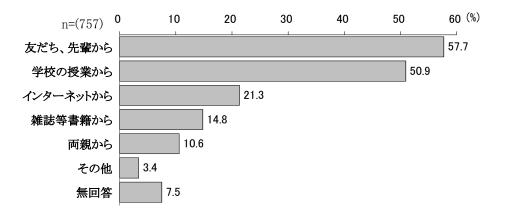
	性感染症	思春期の心理	妊娠・出産	男女交際	セックス	避妊	結婚の意義	女性の身体のしくみ	男性の身体のしくみ	その他	特にない	無回答
全 体 (n=757)	20.7	25. 1	19.9	19.0	13.7	11.8	21.0	10.3	6.3	1.7	46.5	3.6
男性 中学生 (n=161)	19. 9	29. 2	13.0	24. 2	21.7	11.8	23.6	21. 1	13.0	3. 7	47. 2	8.1
高校生(n=177)	21.5	22.0	13.6	16. 9	16.9	9.6	19. 2	6.8	5. 1	2.8	51.4	2.3
女性 中学生 (n=185)	18. 9	34. 1	21.6	17.8	8.1	8.6	23. 2	8.1	3.8	-	43. 2	3.2
高校生(n=230)	21.7	17.4	28. 3	17.8	10.0	15. 7	18.7	7.0	4.3	0.9	45.7	0.9

(6) 性に関する情報源

問25 性に関する情報をどこから得ましたか(Oはいくつでも)

性に関する情報源としては、「友だち、先輩から」と「学校の授業から」が、それぞれ57.7%、50.9% と半数を超えており、「インターネットから」(21.3%)、「雑誌等書籍から」(14.8%) などと比較しても、高くなっていることがわかる。

〈 中・高校生・性別/性に関する情報源 〉



	両親から	学校の授業から	友だち、先輩から	インターネットから	雑誌等書籍から	その他	無回答
全 体 (n=757)	10.6	50.9	57. 7	21. 3	14.8	3.4	7. 5
男性 中学生 (n=161)	9.3	34. 2	54.0	24.8	12.4	6.2	19.9
高校生(n=177)	4.5	51.4	54. 2	28.8	8.5	1.1	4.0
女性 中学生 (n=185)	17.8	50.8	57.3	18. 4	20.5	2.7	4. 9
高校生(n=230)	9.6	61.7	63.0	14.8	16. 5	3.9	3.5

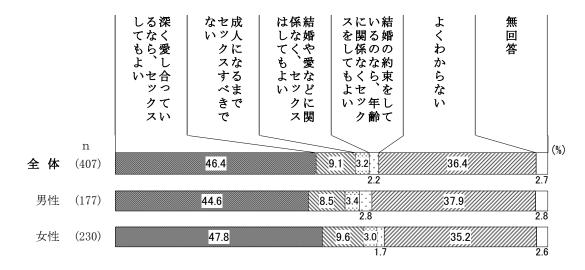
(7) セックスに関する考え

問26 あなたは、セックスすることについてどう思いますか。(Oは1つだけ)

セックスに関する考え方としては、「深く愛し合っているなら、セックスしてもよい」が46.4%で最も高く、次いで「成人になるまでセックスすべきではない」(9.1%)となっている。一方、「よくわからない」という人も36.4%となっている。

性別でみると、あまり男女差はみられない。

〈 性別/セックスに関する考え(高校生のみ) 〉

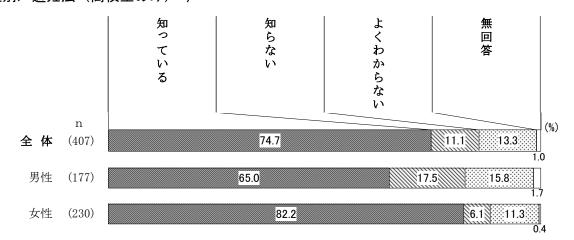


(8) 避妊法の認知

問27 あなたは、避妊法を知っていますか。(Oは1つだけ)

避妊法については、「知っている」が74.7%を占めている。一方、「知らない」は11.1%となっている。 性別でみると、女性では「知っている」が82.2%と、男性(65.0%)より高くなっている。

〈 性別/避妊法(高校生のみ) 〉



(9) 知っている避妊法

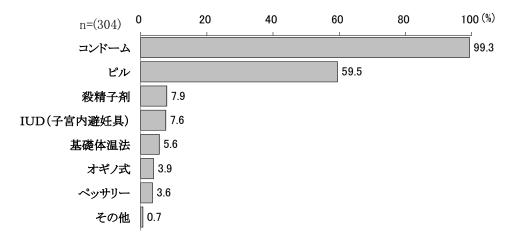
問27で「知っている」と回答した人のみ

付問27-1 どんな避妊法を知っていますか。(Oはいくつでも)

知っている避妊法としては、「コンドーム」が99.3%で最も高く、次いで「ピル」(59.5%)となっている。

性別でみると、女性では「ピル」が61.9%と、男性(55.7%)より高くなっている。

〈 性別/知っている避妊法(高校生のみ) 〉



	ケーゴベロ	ピル	基礎体温法	ペッサリー	殺精子剤	IUD(子宮内避妊具)	オギノ甙	その他
全 体 (n=304)	99. 3	59. 5	5.6	3.6	7.9	7.6	3.9	0.7
男性 高校生 (n=115)	100.0	55. 7	6.1	5. 2	11. 3	5. 2	7.8	0.9
女性 高校生 (n=189)	98. 9	61. 9	5.3	2.6	5.8	9.0	1.6	0.5

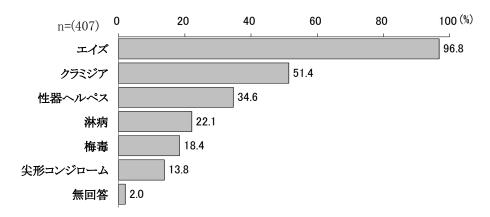
(10) 知っている性感染症

問28 性感染症で、あなたが知っているのはどれですか。(Oはいくつでも)

知っている性感染症としては、「エイズ」が96.8%で最も高く、以下「クラミジア」(51.4%)、「性器 ヘルペス」(34.6%)、「淋病」(22.1%)、「梅毒」(18.4%)の順で続いている。

性別でみると、女性では「クラミジア」「性器ヘルペス」が男性より高くなっている。

〈 性別/知っている性感染症(高校生のみ) 〉



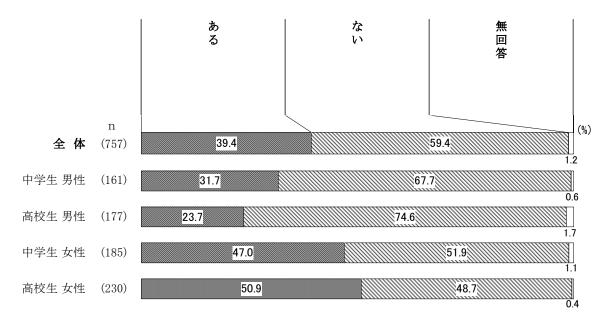
	エイズ	クラミジア	淋病	梅毒	性器ヘルペス	尖形コンジローム	無回答
全体 (n=407)	96.8	51.4	22. 1	18. 4	34. 6	13.8	2.0
男性 高校生 (n=177)	94. 9	42.9	22.0	19.8	29. 9	14. 1	4.0
女性 高校生 (n=230)	98. 3	57.8	22. 2	17. 4	38. 3	13.5	0.4

(11) 赤ちゃんを抱くこと

問29 あなたは、この1~2年の間に赤ちゃんを抱いたことがありますか。(Oは1つだけ)

この1~2年間で赤ちゃんを抱いた経験が「ある」は39.4%、「ない」は59.4%となっている。 中・高校生・性別でみると、中学生・女性、高校生・女性では「ある」が5割前後と男性より高くなっている。 ている。

〈 中・高校生・性別/過去1~2年の間に赤ちゃんを抱いた経験 〉



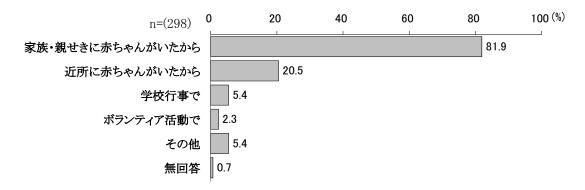
問29で「ある」と回答した人のみ

付問29-1 どんな機会に赤ちゃんを抱きましたか。(Oはいくつでも)

赤ちゃんを抱いた機会としては、「家族・親せきに赤ちゃんがいたから」が81.9%で最も高く、次いで「近所に赤ちゃんがいたから」(20.5%)となっている。

中・高校生・性別でみると、中学校・男性、中学校・女性では「家族・親せきに赤ちゃんがいたから」 が高校生より高くなっている。

〈 中・高校生・性別/赤ちゃんを抱いた機会 〉



	がいたから家族・親せきに赤ちゃん	から 近所に赤ちゃんがいた	学校行事で	ボランティア活動で	その他	無回答
全 体 (n=298)	81. 9	20.5	5. 4	2.3	5.4	0.7
男性 中学生 (n=51)	90. 2	13.7	5. 9	7.8	_	2.0
高校生(n=42)	76. 2	23.8	7. 1	-	2.4	_
女性 中学生 (n=87)	83. 9	23.0	2.3	_	6.9	1.1
高校生(n=117)	78.6	19.7	6.0	1.7	7.7	-

(12) 赤ちゃんを育てること

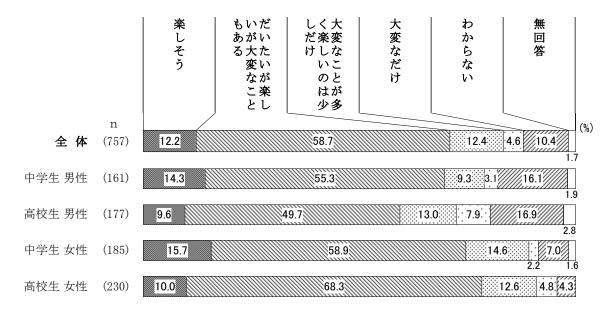
問30 あなたは、赤ちゃんを育てることについてどう思いますか。(Oは1つだけ)

赤ちゃんを育てることについての考え方としては、「だいたいが楽しいが大変なこともある」が58.7%で最も高く、以下、「大変なことが多く楽しいのは少しだけ」(12.4%)、「楽しそう」(12.2%)の順で続いている。

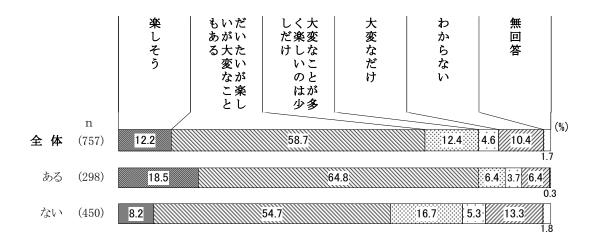
中・高校生・性別でみると、高校生・女性では「だいたいが楽しいが大変なこともある」が68.3%と、他の層より高くなっている。

過去 $1\sim2$ 年の間に赤ちゃんを抱いた経験の有無別でみると、経験のある人では「楽しそう」「だいたいが楽しいが大変なこともある」が高くなっている。一方、経験のない人では「大変なことが多く楽しいのは少しだけ」が高くなっている。

〈 中・高校生・性別/赤ちゃんを育てることについてどう思うか 〉



〈 過去1~2年の間に赤ちゃんを抱いた経験/赤ちゃんを育てることについてどう思うか 〉



10. 人づきあいなど

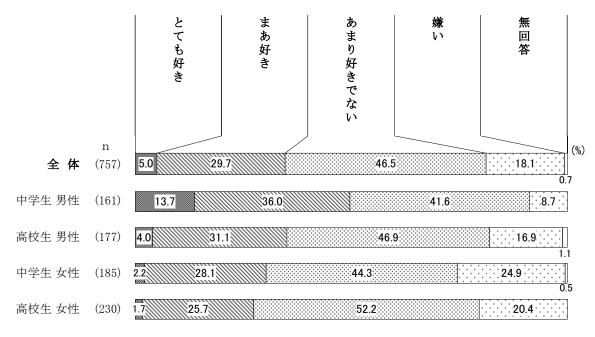
(1) 自分

問31 あなたは、自分のことが好きですか。(Oは1つだけ)

自分のことを好きかということについては、「とても好き」が5.0%で、これに「まあ好き」(29.7%)を合わせた《好き》は34.7%となっている。一方、「あまり好きでない」は46.5%、「嫌い」は18.1%となっている。

中・高校生・性別でみると、中学生・男性では《好き》が49.7%と、他の層より高くなっている。一方、高校生・女性では「あまり好きでない」「嫌い」が合わせて72.6%と高くなっている。

〈 中・高校生・性別/自分のことが好きか 〉



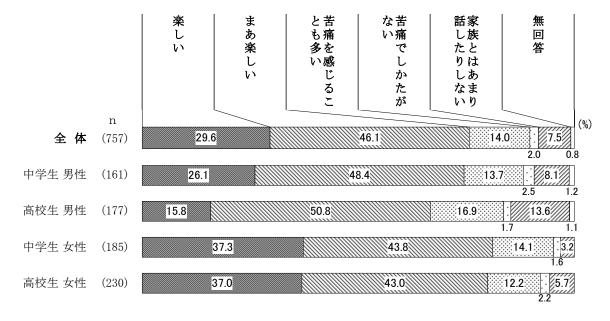
(2) 家族との会話

問32 あなたは、家にいて家族と話したりするのが楽しいですか。(Oは1つだけ)

家にいて家族と話したりするのが楽しいかについては、「楽しい」が29.6%で、これに「まあ楽しい」 (46.1%) を合わせた《楽しい》は75.7%となっている。一方、「苦痛を感じることも多い」は14.0% となっている。

中・高校生・性別でみると、中学校・女性、高校生・女性では「楽しい」が4割近くを占め、男性より高くなっている。一方、高校生・男性では「家族とはあまり話したりしない」が13.6%と、他の層より高くなっている。また、中学生、高校生の男女とも「苦痛を感じることも多い」が1割を超えている。

〈 中・高校生・性別/家にいて家族と話したりするのが楽しいか 〉

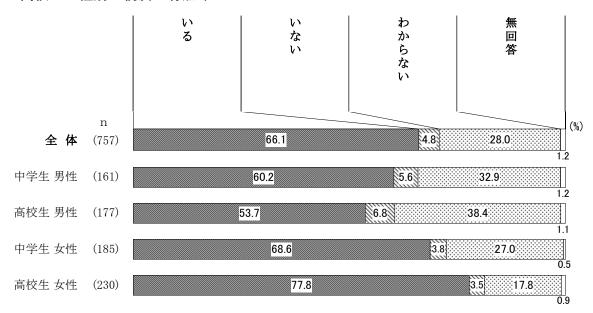


(3)親友

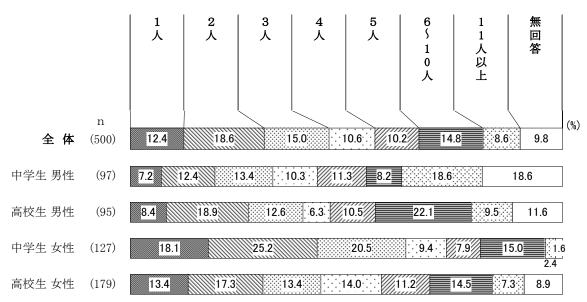
問33 あなたには、親友がいますか。いる場合には、カッコ内に親友の人数を書いてください。 (Oは1つだけ)

親友については、「いる」が66.1%、「いない」が4.8%となっている。 中・高校生・性別でみると、高校生・女性では「いる」が77.8%と他の層より高くなっている。 親友の数としては、「2人」が18.6%で最も多く、次いで「3人」(15.0%)となっている。

〈中・高校生・性別/親友の有無〉



〈中・高校生・性別/親友の人数 〉



(4) 友人とのつきあい

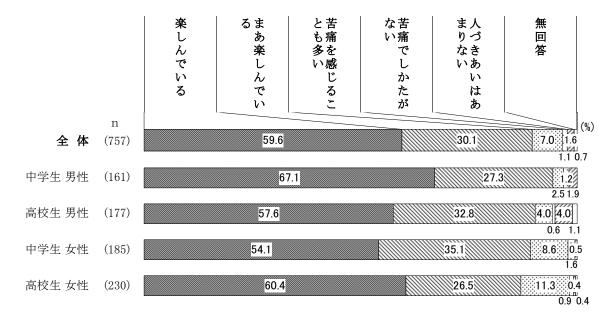
問34 あなたは、友人とのつきあいを楽しんでいますか。(Oは1つだけ)

友人とのつきあいを楽しんでいるかについては、「楽しんでいる」が59.6%で、これに「まあ楽しんでいる」(30.1%)を合わせた《楽しんでいる》は89.7%となっている。一方、「苦痛を感じることも多い」は7.0%となっている。

中・高校生・性別でみると、中学校・男性、高校生・女性では「楽しんでいる」が6割を超えている。 ただし、高校生・女性では「苦痛を感じることも多い」も11.3%と、他の層より高くなっている。

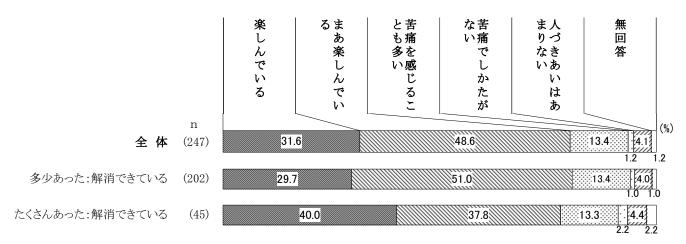
不安等の解消状況でみると、解消できている層では「楽しんでいる」「まあ楽しんでいる」の合計が80.2%となっているが、解消できていない層では62.5%にとどまっている。

〈 中・高校生・性別/友人とのつきあいを楽しんでいるか 〉

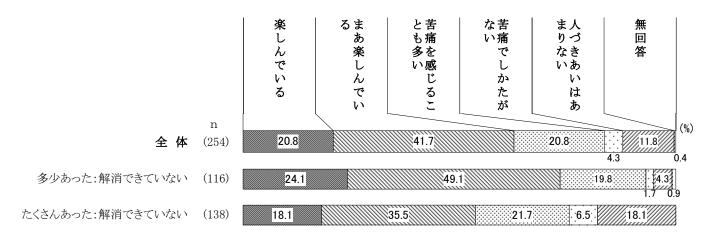


〈 過去 1ヶ月に不安等が「多少あった」「たくさんあった」、

かつ解消が「十分できている」「何とかできている」/友人とのつきあいを楽しんでいるか >



〈 過去 1 ヶ月に不安等が「多少あった」「たくさんあった」、 かつ解消が「あまりできていない」「まったくできていない」/友人とのつきあいを楽しんでいるか 〉

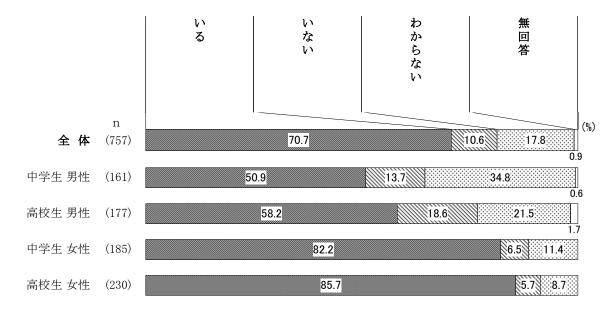


(5) 悩みの相談相手

問35 悩みを相談できる人はいますか。(〇は1つだけ)

悩みを相談できる人が「いる」は70.7%、「いない」が10.6%となっている。 中・高校生・性別でみると、中学生・女性、高校生・女性では「いる」が男性より高くなっている。

〈 中・高校生・性別/悩みを相談できる人はいるか 〉



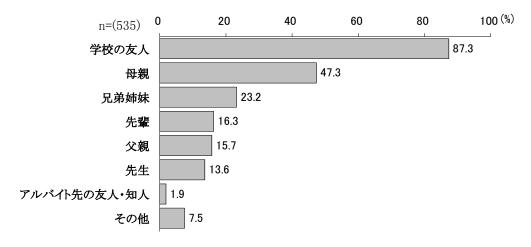
問35で「いる」と回答した方のみ

付問35-1 相談できる人とは誰ですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

悩みの相談相手としては、「学校の友人」が87.3%で最も高く、以下「母親」(47.3%)、「兄弟姉妹」(23.2%)、「先輩」(16.3%)の順で続いている。

中・高校生・性別でみると、中学生・男性を除くと、「学校の友人」が8割台半ばを超えている。また、中学生・女性では「母親」が、中学生・男性では「父親」が高くなっている。

〈中・高校生・性別/相談相手〉



	学校の友人	母親	父親	兄弟姉妹	先生	先輩	人 アルバイト先の友人・知	その他
全 体 (n=535)	87. 3	47. 3	15.7	23. 2	13.6	16.3	1.9	7.5
男性 中学生 (n=82)	76.8	48.8	30.5	25.6	28.0	19. 5	3.7	3. 7
高校生(n=103)	86. 4	27. 2	13.6	13.6	10.7	13.6	1.0	11.7
女性 中学生 (n=152)	87. 5	58.6	9.2	27.6	18. 4	15.8	_	5. 9
高校生(n=197)	91. 9	48. 2	15. 2	23. 4	5. 1	16. 2	2.5	8. 1

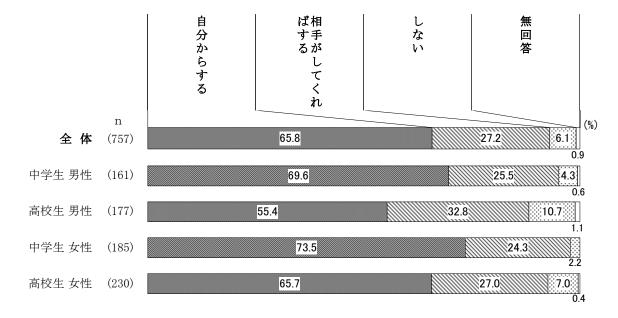
(6) 近所の人へのあいさつ

問36 あなたは、近所の人と会った時にあいさつをしていますか。(Oは1つだけ)

近所の人とのあいさつについては、「自分からする」が65.8%で最も高く、次いで「相手がしてくればする」(27.2%)となっている。一方、「しない」は6.1%となっている。

中・高校生・性別でみると、中学生、高校生とも女性で「自分からする」が男性より高くなっており、 特に中学生・女性では73.5%となっている。

〈 中・高校生・性別/近所の人とのあいさつについて 〉



佐倉市健康増進計画「健康さくら21」市民健康意識調査 報告書 平成24年3月

発 行:佐倉市健康こども部健康増進課

佐倉市江原台2-27 佐倉市健康管理センター

Tel 043-485-6711